

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)四天王寺大学体育館	階数	3
建設地	大阪府羽曳野市学園前三丁目167-	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	0 時間/年
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年4月 予定	評価の実施日	2014年2月10日
敷地面積	139,600 m ²	作成者	株式会社服部建築事務所 服部
建築面積	4,327 m ²	確認日	2014年2月10日
延床面積	7,530 m ²	確認者	株式会社服部建築事務所 服部



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 85%
 ③上記+②以外の 85%
 ④上記+ 85%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 建築物の環境負荷低減に、重点をおいて配慮を行った。 LR1については、建物の熱負荷抑制、効率的運用等を行った。 LR2については、水資源保護、非再生性資源の使用量削減、汚染物質含有量の使用回避等全体的に配慮を行った。		その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 遮音等級T-2のサッシを採用した。また、昼光率、照度を高めることで視環境の向上をはかり、喫煙スペース確保により、室内環境の向上に努めた。	Q2 サービス性能 天井高さを確保し、リフレッシュスペースを設けることで快適性の向上に努めた。耐久性の高い床材、トイレについては防汚性の高い内装材を採用し、SK等を設けることで維持管理に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地中央に配置することで隣接住宅地の圧迫感を軽減し、既設緑地の保存を行うことで、室外環境の向上に努めた。
LR1 エネルギー 外壁面に断熱材を設ける等、建物の熱負荷抑制に努めた。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用により水資源保護や、汚染物質含有材料の使用回避に努めた。	LR3 敷地外環境 適切な屋外照明とし、計画建物を敷地中央へ配置することで、敷地外環境への光害に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)四天王寺大学体育館	
		建設地	大阪府羽曳野市学園前三丁目167-1の一部他5筆	
		用途/区分	学校	
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			2
エネルギー消費量の報告				報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0	4
		住戸・宿泊		
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.2	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				